

オスプレイの大分空港への緊急着陸事案について

標記のことについて、下記のとおりお知らせします。

記

8月29日（火）

- ・オスプレイ1機（米軍普天間基地所属、乗員6名）が18時34分頃、エンジントラブルのため大分空港に緊急着陸。火災やけが人の発生なし。
- ・県から現地に情報連絡員を派遣するとともに、九州防衛局等に確認するなど情報収集を開始。
- ・沖縄米軍基地クラーク大佐から九州防衛局へ以下のとおり連絡。
「本日18時34分頃に第一海兵航空団所属のMV-22オスプレイ1機が、九州国東の大分空港に着陸。コックピットの警告に従い、パイロットは、通常の運用手順に従い、飛行中近くの空港に着陸した。機体は今夜中駐機し、離陸前に徹底的に検査する予定。この予防着陸によるけが人も物的損害もない。地域社会及び海兵隊員の安全は我々の最優先事項である。」
- ・九州防衛局から、米側に対し、安全保障の徹底及び逐次情報提供するよう申し入れ。

8月30日（水）

- ・県から九州防衛局に対し、①正確な情報収集とその情報の速やかな提供、②政府から米軍に原因究明と安全飛行に万全の措置を講じるよう要請、③政府から米軍に要請した結果を県に報告することを要請。
- ・岩国基地の作業員（3名）が、14時30分頃から約2時間の点検・整備。
- ・九州防衛局に米軍から以下のとおり連絡。
 - ①整備員3名と当初からの乗員2名が、本日、岩国基地に向かい、残った乗員4名が大分空港近郊にとどまる。
 - ②明日（8月31日）、10時半頃から点検整備を行う予定。
 - ③明日（8月31日）、11時頃、点検整備に必要な工具を積んだ航空機が大分空港に到着予定。当該機は荷下ろし後、離陸予定。
 - ④当該オスプレイは、エンジン交換が必要なため、しばらくの間大分空港に駐機する。

8月31日（木）

- ・本日11時到着予定のフライトはキャンセル。
- ・嘉手納基地から米軍C-130輸送機がオスプレイの整備のため、19時30分頃に大分空港着陸予定。
- ・19時頃、米軍C-130輸送機が大分空港に着陸。
- ・20時頃、米軍C-130輸送機が大分空港を離陸。

9月 1日（金）

- ・9時前から作業開始
- ・岩国基地から大型トレーラー及びフォークリフトを載せた小型トラック到着。
- ・右側エンジンについては一部パーツ交換を実施予定、左側エンジンは交換予定。
- ・19時過頃作業終了。

9月 2日（土）

- ・9時頃から作業を開始。
- ・右側エンジンを取り外し、新しいものを取り付けた。
- ・左側エンジンは古いものを取り外した。

- ・明日以降も引き続きエンジンの整備を実施する予定。
- ・20時32分に作業終了。

9月 3日（日）

- ・8時30分頃から作業を開始。
- ・左側エンジンを整備。
- ・12時頃作業を終了。
- ・午後からは宿泊先において、機体のデータ処理及びペーパーワークを実施。

9月 4日（月）

- ・8時28分頃から作業を開始。
- ・左右のエンジンを整備。
- ・左側エンジンルームに新しいエンジンを取り付けた。
- ・20時35分に作業を終了。

9月 5日（火）

- ・8時45分頃から作業を開始。
- ・左右のエンジンを点検・整備。
- ・19時頃に作業終了。
 - ※終日、雨が降る中での作業だった。
 - ※夕刻に予定されていた地上でのテストは、未実施。

9月 6日（水）

- ・8時29分頃から作業開始。
- ・左右のエンジンの点検・整備。
- ・エンジンを始動させ、地上でのテストを実施。
- ・19時30分頃に作業終了。
- ・二日市副知事が、九州防衛局長に対し、次のことを文書で要請した。

○米軍に対する原因究明等の要請について

政府から米軍に対し、今回の緊急着陸の原因を明らかにするとともに、オスプレイの安全飛行について万全の措置を講じるよう要請すること。

また、要請した結果について本県に報告すること。

○早期の情報の収集と提供について

オスプレイの飛行について、本県において、今回のような緊急着陸等非常事態が発生した場合は、速やかに情報を収集するとともに、本県に対し直ちに連絡すること。通常運航時においても極力情報提供を行うこと。

9月7日（木）

- ・9時頃から作業開始。
- ・エンジンを始動させ、地上でのテストを実施。
- ・左エンジン部分から白煙
- ・17時頃に作業終了。

9月8日（金）

- ・8時30分頃から作業開始。
- ・左右のエンジン整備、地上でのテストを実施。
- ・10時35分、オスプレイ離陸
- ・10時51分岩国基地に着陸。